

2015年度 森基金 成果報告書

政策・メディア研究科修士課程 2年

学籍番号 81424365

小林慶子

研究テーマ

「外国語学習における学習プロセス —SNS 投稿とライティング言語運用能力の関連性—」

1. 概要

本研究は、外国語学習のライティング能力支援に着目した学習環境の構築・実践・評価を目的とする。教室内のフォーマルラーニングでは個別対応に制約の多いライティング発信の場を、ブログを中心とした学習者の SNS 上の「書く」行為と連動させることで、体験連動型の学習環境構築の実現を目指す。具体的には初習言語としてドイツ語を学習する日本語母語話者の学習環境の構築を対象とし、ブログを発信の場として実証実験をおこなう。これまでの実験および評価から得た知見をふまえ、既習期間の異なる複数の被験者を SNS 上の非公開グループに設定し、Web 上の参与観察をおこなう。その際、アウトプットとしてドイツ語で書かれる被験者の文字データ、SNS 上のコメントデータ、個別の聞き取り調査内容を対象として調査・分析する予定である。

2. 成果報告

今学期は主に、「ドイツ留学を終えた学習者へのインタビュー・アンケート」「ドイツ滞在中および勤務経験者へのインタビュー・アンケート」「海外留学経験者へのインタビュー・アンケート」をおこなった。また、海外留学経験者へは教材作成、授業案作成にかんする意見調査もおこなった。およびそれを踏まえた「研究テーマの見直し」を行った。1年のドイツでの交換留学後、ほぼ同時期にドイツ留学を経験したドイツ語学習者に、現地においてどのような学習をおこなっていたか、また留学中のドイツ語ライティング活動における変化についてインタビューをおこなった。

それを踏まえ、プロジェクトでの研究構想発表を繰り返しおこない、コメントやフィードバックをいただくことで今後の研究計画の見直しをおこなった。具体的には、定性的な研究に重点をおき、インタビューベースで SNS ライティングにおける特長を明らかにする方向で進めていきたいと考える。

また、関連分野（主に外国語教育、異文化教育）の文献を輪読・ディスカッションをおこなった。

3. 今後の予定

ドイツ留学を終えた学習者のライティング習慣に関して、追跡的にインタビュー、アンケ

ートをおこなう。またドイツ語ライティングのプロセスにおいて、紙面と SNS ではどのように異なるか、SNS で外国語を書くときの主だった特長は何かを明らかにすることで、今後、多様なライティングスタイルに対応するための知見を得たい。